



ギリシャの言語的少数者 ヴラーフから見る「民族」

講師：高知工業高等専門学校
ソーシャルデザイン工学科
松浦 真衣子 准教授



〈講師プロフィール〉

2001年	駒澤大学文学部歴史学科卒業
2003年	千葉大学大学院文学研究科修士課程修了
2012年	千葉大学大学院 社会文化科学研究科 博士課程 単位取得退学
2012年～2013年	東京都立葛飾ろう学校 教諭
2013年	東京都立葛飾総合高等学校 教諭
2013年	我孫子二階堂高等学校 非常勤講師
2014年～2016年	高知高専 総合科学科 講師
2016年～現在	高知高専 ソーシャルデザイン工学科 准教授

◆テーマ概要（講師より）

現代のギリシャではギリシャ語が公用語とされていますが、長い歴史の中でヴラーフ語話者が多数存在します。1950年代まで、ヴラーフは独自の文化を持つ少数民族として認められていましたが、現代のギリシャ政府は彼らを民族として認めていません。それゆえ、公教育におけるヴラーフ語の授業も行われていないし、ヴラーフ語を介したメディアも存在しないのです。現代ギリシャではヴラーフ文化は消滅しつつあります。ですが、ギリシャのヴラーフ最大組織「ヴラーフ文化協会全ギリシャ連合」は、ヴラーフがEUのマイノリティ保護政策の対象になることを拒否しています。

なぜ、彼らはマイノリティとして扱われることを拒否するのでしょうか。ヴラーフの歴史や現状を考察することで、言語的マイノリティとは何か、また言語的マイノリティを保護するということは、当事者にとって何を意味するのかを考えます。

★特にこんな方にオススメ

- ▶ 人権問題に関心をお持ちのみなさま
- ▶ バルカンの民族問題に関心をお持ちのみなさま
- ▶ 少数民族問題に関心をお持ちのみなさま

ヴラーフの伝統的な家
(メツォヴォ)



日時：2019年 10月 2日 水 18:30～20:00

場所：高知県産学官民連携センター「ココプラ」 高知市永国寺町6-28

●シーズとは：大学、研究機関、企業、団体等が持つ「技術、ノウハウ、アイデア、人材、設備」などの資源のこと。語源は英語の「種（シーズ：seeds）」。

<開催場所>

高知県産学官民連携センター ココプラ 交流スペース

高知県立大学・高知工科大学永国寺キャンパス 地域連携棟 1階（高知市永国寺町6-28）



- 会場併設の駐車場（無料）をご利用いただけます。地図内▼の入場ゲートよりお入りください。入場ゲートより右手側のスペースが「ココプラ」の来客者用駐車場となっていますのでご利用ください。（左手側のスペースは大学教職員用駐車場ですので、駐車しないでください。）ただし数に限りがありますので、満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

※[公共交通機関をご利用の場合]
 ・JR 高知駅より徒歩15分
 ・路面電車 大橋通駅より徒歩7分



<申込方法>

FAXもしくは「ココプラ」ホームページよりお申し込みください。

<https://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=1414>



<申込締切>

令和元年9月30日（月）※当日参加も可能ですが、申し込みされた方を優先させていただきます。



<申込、お問い合わせ先> 高知県産学官民連携センター「ココプラ」

〒780-8515 高知市永国寺町6-28

（高知県立大学・高知工科大学永国寺キャンパス 地域連携棟 1階）

TEL. 088-821-7111 FAX. 088-821-7112 E-MAIL. info@kocopla.jp

FAX用 申込用紙

第9回シーズ・研究内容紹介 「ギリシャの言語的少数者グループから見る『民族』」

（ふりがな） 氏名			
所属		役職	
電話 FAX		E-mail	

※いただいた個人情報は、当該事業および県の産業振興計画に関する情報提供以外には使用いたしません。

【FAX:088-821-7112】

